

小田原歴史年表

時代	小 田 原 地 方		日 本		
弥先 土器 ・ 縄文 代・	約1.5万年前	狩猟や採集の生活が行われる	前2世紀	狩猟生活が行われる 農耕生活が始まる	
	1世紀	農耕生活が始まる		1世紀	小国家が分立する
大和・ 奈良・ 平安時代	7世紀	久野に高塚式古墳が作られる 中央貴族の封戸となる 足下郡の防人の歌、万葉集にの る 各地に荘園ができる（早川、成 田、大井など） 各地に武士がおこる（中村氏、 土肥氏など）	4世紀	大和朝廷の国土統一が 進む	
	8世紀		645年	大化の改新が始まる	
	11世紀		710年	都を平城京に移す	
			741年	国ごとに国分寺を造る	
鎌倉・ 室町 ・ 安土 桃山 時代	1180年（治承4）	源頼朝が石橋山で平氏方に敗れる	1192年	頼朝が征夷大將軍とな る	
	1193年（建久4）	曾我兄弟が富士の巻狩りで父の 仇を討つ		1221年	承久の変が起こる
	1394年（応永1）	大森頼明が関本に最乗寺を建て る		1334年	建武の新政が行われる
				1338年	足利尊氏が征夷大將軍 となる
	1416年（〃23）	土肥、土屋氏が滅びる（上杉禅 秀の乱）		1467年	応仁の乱が起こる （以後、戦国の乱世と なる）
	1495年（明応4）	北条早雲が小田原城をおとしい れる			
	1504年（永正1）	早雲に招かれた宇野藤右衛門が 秘薬「秀頂香」（ういろう）を 作る	1543年	ポルトガル船が種子島 に漂着し、鉄砲を伝え る	
	1521年（大永1）	北条氏綱が湯本に早雲寺を建て る			
	1552年（天文21）	北条氏康が管領上杉憲政を越後 に追い関東を制覇する			
	1561年（永禄4）	長尾景虎（上杉謙信）が小田原 に来攻する	1573年	室町幕府が滅びる	
	1569年（〃12）	武田信玄が小田原に来攻する			
	1590年（天正18）	豊臣秀吉が小田原城を攻めて、 北条氏を滅ぼす 大久保忠世が小田原藩主となる			1590年
				1600年	関ヶ原の戦が起こる

時代	小 田 原 地 方		日 本	
江 戸 時 代	1619年(元和5)	箱根に関所が置かれる	1603年	徳川家康が征夷大將軍となる
	1632年(寛永9)	稲葉正勝が小田原城主となる	1639年 1649年	鎖国令が出される 慶安の御触書が出る
	1638年(〃5)	小田原宿に人馬100人、100頭が置かれる		
	1658年(万治1)	藩主稲葉正則、全領地の検地を始める		
	1660年(〃3)	関本の名主下田隼人、重税に苦しむ農民を救うため藩主に訴え死罪となる		
	1670年(寛文3)	箱根用水が完成し、約7000石の増収が得られる		
	1686年(貞享3)	大久保忠明、佐倉から小田原に移され城主となる(10万3129石)		
	1703年(元禄16)	江戸大地震により、領内の被害大きく、天守閣も破壊される		
	1707年(宝永4)	富士山の大噴火により、藩内一帯が降灰のため、大きな被害を受ける	1716年	享保の改革始まる
	1782年(天明2)	小田原地方に大地震があり、大きな被害を受ける	1783年	天明の大ききん始まる
	1787年(〃7)	二宮尊徳が栢山に生まれる	1787年	寛政の改革始まる
	1802年(享和2)	川口広蔵の指導のもとに荻窪堰が完成し、58町余の水田が開発される		
	1822年(文政5)	藩主大久保忠真、城内三の丸(三の丸小の地)に藩校集成館を作る 二宮尊徳、藩主忠真に依頼され分家宇津家の桜町領(枋木)の復興に当る	1837年	大塩平八郎の乱が起こる
	1838年(天保9)	小田原の俳人円城寺(六花苑)嵐窓死ぬ	1841年	天保の改革始まる
	1842年(〃13)	二宮尊徳、幕府の普請役格となる		
	1850年(嘉永3)	小田原藩が防備のため、小田原海岸に台場を造る	1853年	ペリーが浦賀に来航する
	1862年(文久2)	小田原の画家岡本秋暉死ぬ	1858年	日米修好通商条約を結ぶ
			1867年	江戸時代が減じる(大政奉還)

時代	小 田 原 地 方		日 本		
明治時代	1868年(明治1)	箱根戊辰の役が起こる	1869年 1871年	版籍奉還 廃藩置県	
	1869年(" 2)	藩主大久保忠良が藩知事となる			
	1871年(" 4)	小田原県が置かれたが、その年に廃され、足柄県となる	1872年	学制を定める	
	1872年(" 5)	小田原郵便取扱所が開設される			
	1873年(" 6)	藩校集成館を廃し、中学校と小学校ができる	1873年	地租改正条項が公布される	
	1873年(" 6)	学制にもとづく小学校ができる			
	1876年(" 9)	足柄県を廃し、神奈川県に編入される	1877年	西南の役が起こる	
	1878年(" 11)	小田原に足柄下郡役所を置く			
	1887年(" 20)	新橋一國府津間に鉄道が開通する	1888年	町村制公布される	
	1888年(" 21)	国府津一小田原一湯本間に馬車鉄道が開通する			
	1889年(" 22)	町制がしかれ、小田原町となる(人口約1万6000人)	1889年	大日本帝国憲法が公布される	
	明治時代	1890年(" 23)		1890年	第1回帝国会議が開かれる
		1894年(" 27)	北村透谷が思想上の行き詰まりから自殺する(25歳)	1894年	日清戦争始まる
		1896年(" 29)	小田原一熱海間に人車鉄道が開通する		
		1900年(" 33)	国府津一小田原一湯本間に電車が開通し、また、この年に小田原に電燈がつく	1901年	八幡製鉄所が創業する
		1901年(" 34)	県立第二中学校が開校する(後の小田原高校)		
		1902年(" 35)	小田原に大津波がおそい、大きな被害を受ける	1904年	日露戦争が始まる
1903年(" 36)		小田原に電話が開通する			
1906年(" 39)		小田原一熱海間の人車鉄道が軽便鉄道となる	1914年	第一次世界大戦に参加	
1908年(" 41)	町立小田原高等女学校が開校する(後の城内高校)				
大正時代	1918年(大正7)	北原白秋が「みみづくの家」を建てる	1925年	治安維持法、普通選挙法が公布される	
	1920年(" 9)	熱海線が小田原まで開通し、箱根登山鉄道も開通する			
	1923年(" 12)	関東大震災が起こり、小田原も大被害を受ける			
	1925年(" 14)	大雄山線が小田原一関本間に開通する			

時代	小 田 原 地 方		日 本	
昭 和 時 代	1927年（昭和2）	小田急線が新宿—小田原間に開通する	1931年 1933年	満州事変が起こる 国際連盟を脱退する
	1934年（ ” 9）	丹那トンネルが開通し、東海道本線が小田原市街地を通るようになる		
	1936年（ ” 11）	小田原の上水道ができ、給水を始める	1937年	日華事変が始まる
	1940年（ ” 15）	小田原町、足柄町、大窪村、早川村、酒匂村の一部が合併して小田原市が誕生する（人口約5万5000人）		
	1941年（ ” 16）	酒匂に大蔵省印刷局ができる		
	1945年（ ” 20）	米空襲により浜町、本町の一部が焼ける	1945年	太平洋戦争が終わる
	1947年（ ” 22）	6・3・3制により新制中学校が開校する	1947年	日本国憲法が施行される 農地改革が行われる
	1948年（ ” 23）	下府中村が小田原市と合併する		
	1950年（ ” 25）	小田原で子供文化博覧会が開かれる	1951年	サンフランシスコ平和条約が結ばれる
	1954年（ ” 29）	桜井村が小田原市と合併する 豊川村、酒匂村、国府津町、上府中村、下曾我村、片浦村が小田原市と合併する		
	1956年（ ” 31）	曾我村の一部（上曾我、下大井、鬼柳、曾我大沢）が小田原市に編入する	1956年	国際連合に加盟する
	1960年（ ” 35）	小田原城天守閣が復興する このころ大工場の誘致が盛んとなる	1960年	日米安全保障条約が改定される
	1964年（ ” 39）	東海道新幹線が開通し、特急が小田原に停車する	1964年 1965年	オリンピックが東京で開かれる 日韓条約が結ばれる
	1966年（ ” 41）	新住所が一部施行される		
	1968年（ ” 43）	小田原漁港が完成する		
	1969年（ ” 44）	小田原厚木道路が開通する	1969年	東名高速道路が開通する
	1970年（ ” 45）	鴨宮新貨物駅が操業を始める	1970年	万国博覧会が大阪で開かれる
	1971年（ ” 46）	橘町が小田原市と合併する	1971年	沖縄返還協定が調印される
	1972年（ ” 47）	西湘バイパスが全面開通する 学校給食センターが完成する	1972年 1975年	沖縄復帰、日中復交成る 冬季オリンピックが札幌で開かれる

時代	小 田 原 地 方		日 本	
昭 和 時 代	1976年（＼ 48）	市の木（くろまつ）市の花（うめ）が制定される 荻窪300番地に新庁舎が完成する	1977年 1978年	成田空港が開かれる 日中平和友好条約が調印される
	1979年（＼ 54）	東海地震に関わる地震防災対策強化地域に指定される		
	1980年（＼ 55）	新中央公民館が完成する（市制40周年記念）		
	1981年（＼ 56）	小田原新漁港が完成する		
	1988年（＼ 63）	尊徳記念館改築完成		
平 成 時 代	1990年（平成2）	石垣山一夜城跡が歴史公園として整備される	1990年	バブル景気が崩壊する
	1992年（＼ 4）	市制50周年記念式典が行われる		
	1994年（＼ 6）	本町小、城内小が統合され、三の丸小学校が開校する	1995年	阪神淡路大震災
	1994年（＼ 6）	「かもめ」図書館が開館する		
	1994年（＼ 6）	小田原文学館が開館する		
	1995年（＼ 7）	6月22日、20万人都市誕生、市の鳥（コアジサシ）が制定される	1998年	冬季オリンピックが長野県で開かれる
	1996年（＼ 8）	小田原市総合文化体育館・小田原アリーナが完成する		
	1998年（＼ 10）	小田原城銅門が復元される	2004年 2005年	新潟県中越地震 国際博覧会が愛知県で開かれる
	2000年（＼ 12）	小田原市が特例市になる		
	2003年（＼ 15）	小田原こどもの森公園わんぱくランドがオープンする	2004年 2005年	新潟県中越地震 国際博覧会が愛知県で開かれる
	2003年（＼ 15）	小田原駅東西自由連絡通路・アークロードが全面開通する		
2004年（＼ 16）	小田原駅西口駅前広場が完成する			
2007年（＼ 19）	小田原市教育都市宣言が制定される	2011年	東日本大震災 福島第一原子力発電所事故が発生する	
2007年（＼ 19）	中央公民館が生涯学習センター本館「けやき」となる			
2010年（＼ 22）	片浦中学校閉校、城山中学校に統合される			
2015年（＼ 27）	おだわら市民交流センター UMECO がオープンする			

時代	小 田 原 地 方		日 本	
令和時代	2020年（令和2）	市立図書館が閉館する 小田原市立かもめ図書館を小田原市立中央図書館に改称（かもめ図書館は愛称として継続）する	2020年	コロナ感染症対策のため全校の学校が一斉休校
	2021年（「3）	小田原駅東口図書館が開館する 小田原三の丸ホールがオープンする	2021年	東京オリンピック・パラリンピック開催
	2022年（「4）		2022年	北京冬季オリンピック・パラリンピック開催
	2024年（「6）	新しい学校給食センターが完成する		